

大野小だよい

「みんなでつくろう幸せな学校」



HP QR コード



自ら進んで学ぶ子 自分を高める子 互いを認め合える子 令和7年2月13日 第18号

学校評価へのご理解とご協力をありがとうございました。

令和6年度、後期学校評価にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございました。

集計結果が整いましたので、ご報告いたします。なお、市川市全体の平均も掲載いたしましたので、ご参照ください。

R6.6

45% 42% 9% 4%

肯定的評価の
増減を示します

R6.12

52% 35% 9% 4%

そう思う

ややそう思う

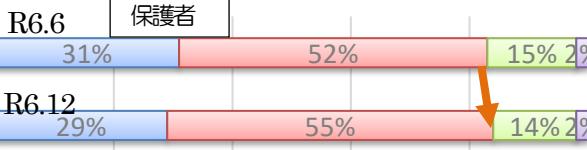
あまり思わない

そう思わない

グラフの見方

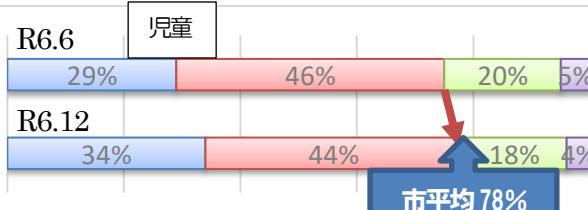
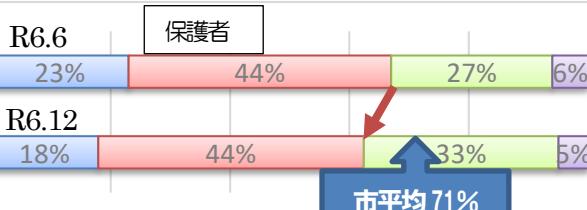
上段が、R6年度前期、下段がR6年度後期のデータです。
グラフ左から肯定的評価となっています。

1 お子さんは、学校の勉強がわかりやすいと言っていますか。



後期以降、算数科を中心に全学年で習熟度別少人数指導や二人体制によるきめ細やかな指導をしています。また、3年生以上で教科担任制を取り入れるとともに、研究授業を実施し、授業改善に努めるとともに、引き続き、質の高い授業を目指して努力していきます。

2 お子さんは、目標をもって学習したり、生活したりしていますか。

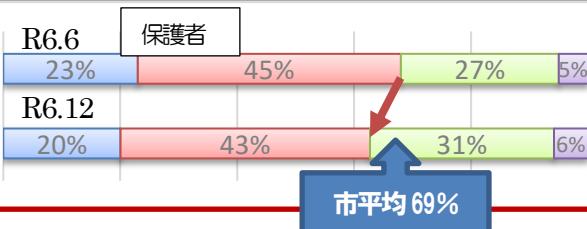


市平均 71%

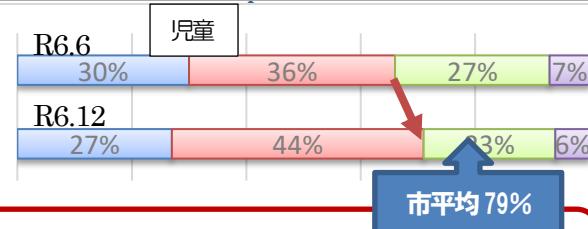
市平均 78%

前期に引き続き、学習においては、子どもたちが課題を見出し、解決までの見通しをもって取り組むことができるようになります。また、学習内容を子どもたちの生活と結び付けていくことで、主体的な学びにつながるようにしています。生活においても、自分たちで達成可能な目標を立て、日々振り返りをしていく中で、個々の成長や集団での育ちを実感できるようにしています。今後も、この取り組みを継続していきます。

3 お子さんは、調べたいことやわからぬことを自分から調べるなど、いろいろなことに興味をもって学習に取り組んでいますか。



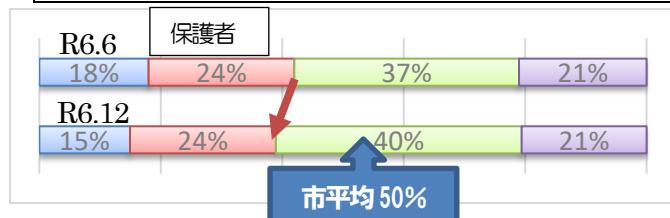
市平均 69%



市平均 79%

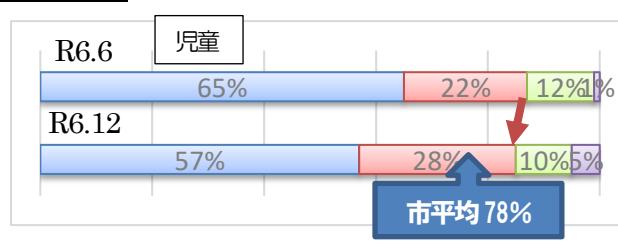
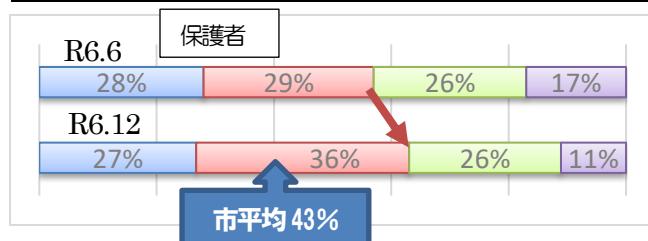
前期に引き続き、総合的な学習の時間（わくチャレ）を中心に本物に触れたり、体験したりする機会を設け、子どもたちの興味・関心を高めて見通しをもって学習に取り組むことができるようになります。また、インターネットや図書資料だけでなく、人やもの・ことからも学ぶことができるよう、引き続き支援していきます。

4 お子さんは、日ごろから読書に親しんだり、図書資料を使って調べ物をしたりしていますか。



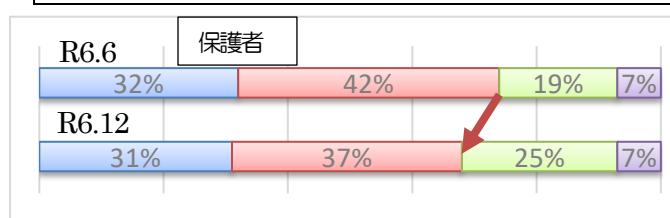
5%増。前期に引き続き、週一回の朝読書の取り組みとおはなしやうびんさんや図書司書・学級担任による読み聞かせ活動を、今後も継続していきます。後期は、国語科で読書教材を扱う単元が多いことから、図書司書とも連携し、子どもたちがすぐに本を手に取ることができる環境を整えたので、肯定的評価が増えたものと考えられます。

5 お子さんは、毎日の学習でタブレットを活用していますか。



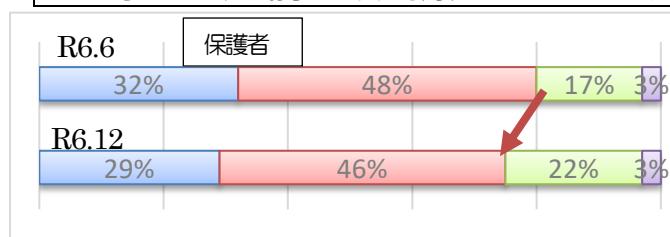
前期に引き続き、学習や生活の中でICTの利活用を積極的に進めています。1年生も含め、タブレット操作にも慣れてきました。一人一人が文房具の一つとしてタブレットを活用することができるよう、また、メディアリテラシーを発達段階に応じて身につけていくことができるよう支援していきます。

6 お子さんは、家庭学習の習慣が身についていますか。



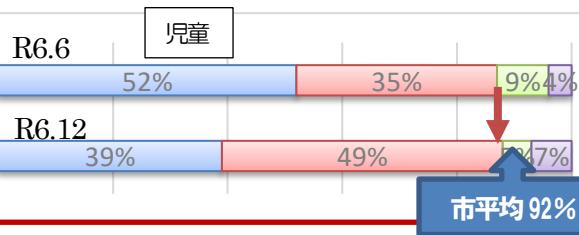
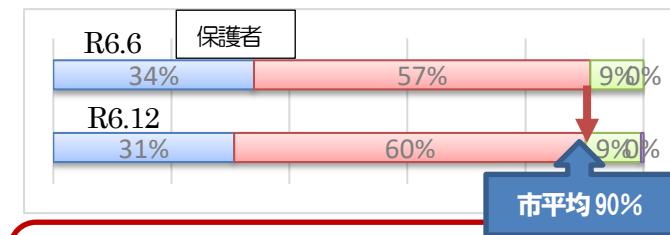
6%減です。チャレカード、音読や計算カード、自主学習、ドリルの丸付けなど、ご家庭でのきめ細やかなサポートが、家庭学習の定着につながっています。いつもありがとうございます。誰でも、一人で取り組むことができるよう、課題を精査していくたいと思います。

7 お子さんは、気持ちの良い挨拶をしていますか。



5%減です。9月以降、計画委員さんによる挨拶運動が毎日続いたこと也有って、友達同士や教職員に対して、大きな声で挨拶をする姿が見られるようになりました。学校内にいるお客様や学校外に出た時にお世話になった方など、面識のない方への挨拶もできるよう指導していきたいと思います。

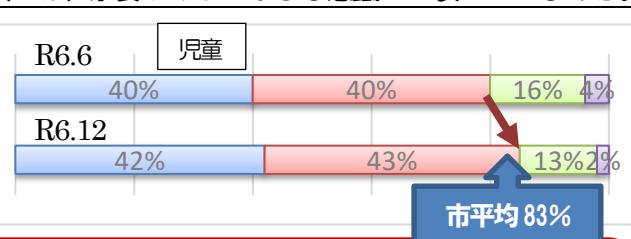
8 お子さんは、友だちと「お互いの良さを認め合う」ような関係作りができますか。



前期評価同様、肯定的評価が高いので安心しています。6年生の学年目標「プラス1」の通り、「幸せな学校をつくるためにできることは何か」を学習や生活のベースにしてきたので、たてわり活動はもちろんのこと、学級会活動や委員会・クラブ活動、行事を通して、互いを認め合うあたたかい風土がてきたのでしょう。教職員も含め、これからも、このあたたかな風土を醸成していきます。

9 お子さんは、望ましい食習慣が身についていますか。

給食では、栄養やマナーなどを意識して食べていますか。



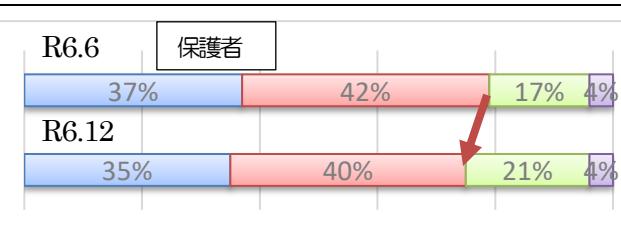
5~10%増です。学校保健講演会や給食試食会の実施、5年生・6年生は、家庭科や総合的な学習の時間（わくチャレ）に栄養士の指導を受け、給食のメニュー作りに取り組んだことにより、食への関心が高まったと考えられます。前回に引き続き、配膳の仕方や食育指導等、栄養士が給食を通して毎日児童とかかわっています。子どもたちの健やかな成長のためにも、引き続き、ご家庭と協力して進めていきたいと思います。

10 お子さんは、外で遊ぶなど進んで体を動かしていますか。



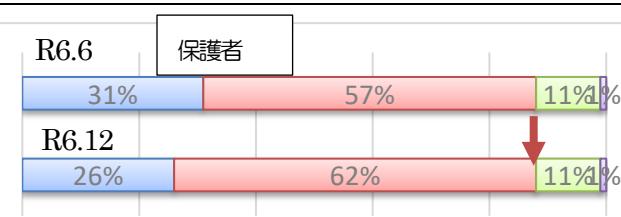
前期に引き続き、休み時間に鉄棒やマットなどの器械運動や縄跳び運動に継続的に取り組むことができるよう環境を整えました。また、高学年は市内陸上大会、中学年は校内陸上大会に向けて陸上種目に取り組むことができました。トップアスリートを招聘した授業は、子どもたちの運動への関心を高めることにつながったと考えられます。

11 お子さんは、早寝早起きなど、望ましい生活習慣が身についていますか。



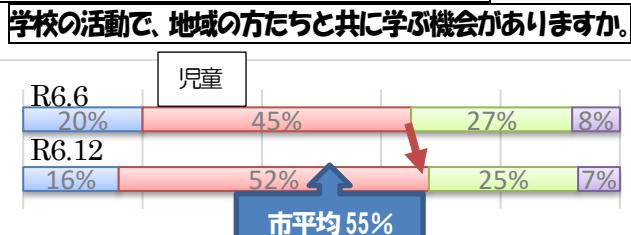
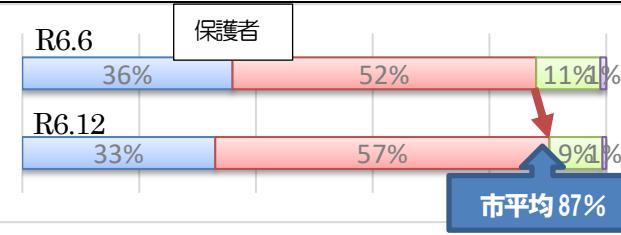
前期に引き続き4%減です。望ましい生活習慣の習得は、子どもたちの心と体を整え、小児生活習慣病の予防と健やかな成長に欠かせません。学校では、教科や特別活動の中で、繰り返し指導をしていきます。ご家庭とも連携を図りながら、子どもたちを見守っていきたいと思います。

12 学校は、目指す子どもの姿や学校経営方針について、保護者に理解されるように努めていると思いますか。



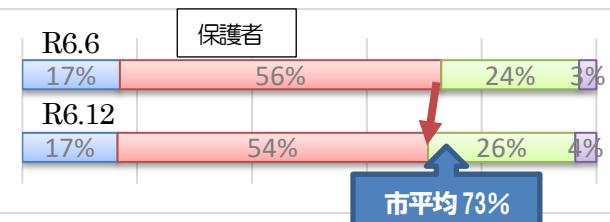
子どもたちの姿とともに、学校運営の課題や成果についても、学校だよりやホームページ等で伝えられるよう努めてまいります。なお、学校運営等に関するご意見やご不明な点につきましては、校長までご連絡ください。学校運営協議会の記録につきましては、HPに掲載しております。

13 学校は、保護者や地域の方々と共に、子どもを育てる取り組みを進めていると思いますか。



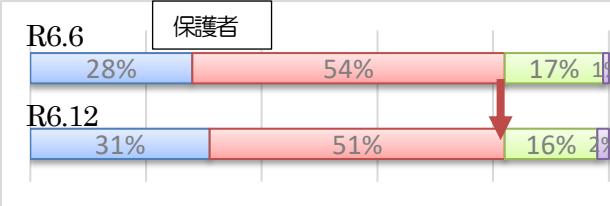
1年を通して、地域や外部団体の教育力を活用した学習を延べ50回行いました。また、学校支援実践講座や昔遊び交流会、サマーフェスティバル、早春あそび塾、保護者ボランティアの積極的な活用など、家庭・地域と連携して子どもたちを育ててきた成果だと考えられます。今後も地域や家庭との連携を深め、大野っ子を育てていきます。

14 学校には、一人一人のニーズに対応したきめ細やかな支援体制が整っていると思いますか。



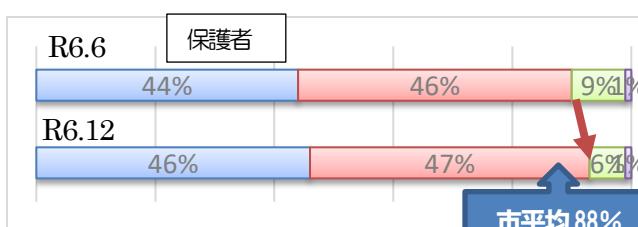
低学年を中心にスクールソポーターによる個に応じた支援、不登校支援教室の運営等を実施していますが、保護者の皆様のニーズに適切に対応できていないことを反省しました。個別に対話を重ね、お子さんが安心して学校生活を過ごすことができるよう努力します。

15 学校は、特色ある取り組みや教育を進めていると思いますか。



ICTの効果的な利活用、地域や企業の教育力を活用した本物に触れる授業、たてわり活動などが、本校の特色ある取り組みと考えます。常に、地域や社会とのつながりを考えさせ、持続可能な社会をつくる担い手となる子どもたちの育成に努めています。

16 学校は、体験活動を取り入れていると思いますか。



R6.6 児童

R12.12 児童

46% (青)

41% (赤)

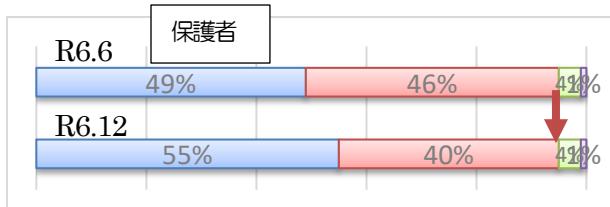
11% (緑)

3% (紫)

市平均 85%

前回に続き、保護者の皆様や地域の教育力を活用し、体験や経験を通して、生活の中に課題を見出す探究的な学習スタイルが身につくよう努めています。また、体験に伴う協働的な活動を通して、見分を広め、他者理解が進むなど、多面的なものの見方や考え方ができる子どもたちを育てています。

17 学校は、学校だよりやHP、メール配信等で情報提供を行っていると思いますか。



メールやHPだけでなく、ZOOM や動画の配信も行いました。今後も、教育活動の様子や必要な情報を早く正確に伝えることができるよう努力いたします。

18 困ったことがあった時に、相談できる先生がいますか。

5%減です。前回に続き、「みんなでつくる幸せな学校」を目指し、大野小すべての子どもたちを教職員全体で見守り育てていこうと、子どもたちとのかかわりを大切にしているところです。子どもたちや保護者の皆様との信頼関係の構築と相談体制の整備に努め、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、全教職員で努力していきます。

R6.6 児童

R12.12 児童

46% (青)

28% (赤)

14% (緑)

12% (紫)

31% (青)

41% (赤)

18% (緑)

10% (紫)

市平均 74%

以上、令和6年度後期学校評価の集計と令和6年度前期との比較、さらに分析と今後の取り組みについて記載いたしました。なお、学校評価につきましては、学年や学級ごとにも集計し、教員一人一人の自己評価にも生かしています。令和6年度の学校生活も残り30日弱。子どもたちにとっては、進学・進級への期待や不安と戦う日々となることでしょう。引き続き、保護者の皆様や地域の方々と連携し、子どもたちの健やかな成長と「みんなでつくる幸せな学校」の実現をめざし、邁進していきます。

学校運営に関するご意見等ございましたら、校長まで (338-3000) お願いいたします。